

日本列島 組合探検隊



連携による 事業展開

ウォーキングの歩数に応じて商店街の買い物券を進呈！

～中通り商店街振興組合（山形県）～

◆背景と目的

平成20年4月に、商店街内にNPO「元気王国」がスタジオを設け、毎週アーケードウォーキングを開始した。これをきっかけに、商店街のマイレージ企画の構想を持ちかけたところ、NPOとしても会員を増やせるというメリットがあるため、連携して事業に取り組むこととなった。

◆事業・活動の内容

参加者はNPO法人「元気王国」で参加者登録し、ウォーキングを実施、その後歩行数を元気王国に申請する。歩行場所はどこでもかまわない。登録場所は商店街の中にある元気王国で、週に一度は商店街に来てもらうために、電話、メール、FAXでの歩行数の登録はできない。

マイレージは1ヶ月間の一日平均歩行数の10%にあたる1,000円を上限に、商店街の買い物券になる。

また、毎週金曜日開催の元気王国の「アーケードウォーキングプログラム」に参加の方には、トレーナーの歩行数をボーナスポイントでプラスする特典

がある。

参加受付、登録業務を「元気王国」が担当し、事業の告知、買い物券発行を商店街が担当する。今回は2ヶ月間（8～9月）の期間限定で実施した。

◆成果

現在の登録者は約30人であるが、中通り商店街でおもしろいことをやっているという市民の評判になり、「お客様の健康増進のお手伝い」という中通り商店街のイメージ形成に役立っている。

ウォーキングの登録や申請のために商店街を訪れる市民が増加し、買い物券も利用できるため、個店への来店のきっかけにもつながっている。

【組合の概要】

所在地：山形県酒田市中町1-10-23

電話：0234-21-2601

設立：昭和52年12月

組合員：76名

連携による 事業展開

産学官連携により茨城栗活用の新菓子3品を開発

～茨城県菓子工業組合（茨城県）～

◆背景と目的

茨城県内の菓子製造業者等で構成する茨城県菓子工業組合は、茨城県の「新製品開発等支援事業費補助金」を活用し、「いばらきの菓子づくりプロジェクト」として本組合内に組合員24人が参加した産学官連携の研究会や開発部会を設け、県関連機関、大学、農業者団体、観光物産協会、デザイナーと連携し、県内の農産物を使った菓子づくりに取り組んだ。

◆事業・活動の内容

この連携プロジェクトでは、菓子製造業者、学識経験者、農業関係機関、デザイン振興団体、行政機関等から成る産地振興のための「いばらきのお菓子づくり研究会」が設置され、県産農産物を活用した菓子のコンセプトづくりから販路開拓まで協議、検討を重ねた。また、同時進行で連携先との協力の下に設けられた開発部会が、新作菓子の試作開発並びにその協議、検討を行った。初年度は、薩摩芋、栗、花豆を素材に計38品を試作するなどし、次年度には一般消費者向けに試作品評会を実施して、人気の高かった栗の3品に商品化の候補を絞り込んだ。

開発部会のこれら3品の絞り込みを受けて、本組合では、組合員をチームリーダーとする3品の試作改良のための3チームが編成され、3カ所の組合員

工場での最終的な仕上げに向けた試作改良に取り組んだ。各チームとも、菓子の日持ち、食感、風味等の改良・工夫を加えた結果、新ブランド菓子「とこよの國いばらき三ツ栗焼き菓子、三ツ栗ぷりん、三ツ栗餅」(3品)が完成した。

◆成果

新ブランド銘菓は、平成20年4月に姫路市で開催された第25回全国菓子大博覧会では名誉総裁賞(文化部門)を受賞し、また同年1月に本県で開催される「国民文化祭・いばらき2008」に出品されるまでになった。

さらに、本組合では、品質の保証を図るため、希望組合員には厳格なレシピ指導を行い、その店舗でも製造販売をしていくことになった。今後は全国的な流通を図るため、段階的に販路開拓を行う。

【組合の概要】

所在地：茨城県水戸市見川町1239-5

電話：029-244-7231

設立：昭和41年2月

組合員：194人

※本コーナーは、全国中央会が取り纏めた「先進組合事例」をもとに編集しています。